

会 議 録

会 議 の 名 称	第7回 第2次宍粟市男女共同参画プラン策定委員会	
開 催 日 時	令和2年1月29日（水）13:30～15:30	
開 催 場 所	宍粟市役所 本庁舎 4階 402 会議室	
会 長 氏 名	中村 会長	
委 員 氏 名	（出席者） 中村会長、三渡副会長、梶浦委員、高井委員、 小西委員、野谷委員	（欠席者） 稲垣委員、中村委員、 石原委員、久保委員
事 務 局 氏 名	津村部長、大田次長、西田課長、上月係長 （まちづくり推進部人権推進課）	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1. 開会 2. あいさつ 3. 説明事項 （1）第2次宍粟市男女共同参画プラン素案について ・パブリックコメント他報告 （2）委員意見書の提出 （3）市長あいさつ 4. その他 ・男女共同参画フォトコンテスト作品審査 ・来年度以降の男女共同参画推進事業について 5. 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （ 記 名 押 印 ）	（委員長等） _____ (印)	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>皆様、何かとお忙しい方ばかりですが、時間の都合をつけていただきましてご出席いただきありがとうございます。</p> <p>今年は記録的な暖冬ということで、私は宍粟の北部に在住していますけれども、ここまで雪が降らない年は生まれて初めてです。市内2か所にスキー場もありまして、関係者の方にとりましたら本当に死活問題ということで、非常に心配しております。</p> <p>さて、一昨年の秋口から当委員会を開催させていただきまして、ほぼ1年半という長きにわたりご審議をいただき、このたびようやく計画案がまとまってきつつあります。このあと、市長に意見書の提出をしていただく予定となっているようでございますが、この間、委員の皆様におかれましては本当に熱心に、そして慎重に将来の宍粟市を見据えた中で議論を重ねていただきました。改めまして御礼申し上げます。</p> <p>基本的人権の尊重といいますのは当然の理念なのですが、この宍粟市だけに限らず日本全国の問題として人口が減って行って社会が縮小している状況の中、性別に関わりなく一人ひとりが能力を発揮し活躍していく必要があると思います。日本全国でそうしていかないことには危機が迫っている、そんな感じも持っております。</p> <p>今後ですが、このプランを策定するだけではなく、これをいかに施策として展開していくかが大事になってまいります。そのことを十分肝に銘じつつ、委員の皆様には引き続きのご支援またご協力をお願い申し上げまして、本日冒頭のごあいさつとさせていただきますと思います。本日はよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>では、続きまして、開会のごあいさつを第2次宍粟市男女共同参画プラン策定委員会会長より頂戴しまして、引き続き、議事につきましては会長の進行により進めていただきたいと思います。会長、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>このプランが皆さんのたくさんの意見と事務局さんの大変な努力でやっと形になって、さあこれからというところになっております。</p> <p>皆さんご存じだと思うのですが、昨年末に世界経済フォーラム、ダボス会議というところが日本の状況を数値化しました。ジェンダーギャップ指数という、い</p>

<p>会長</p>	<p>いわゆる男女不平等指数ですね、世界 153 か国中何と 121 位まで下がりました。これが当初始まったとき日本は 80 位程度だったのが下がりに下がり、昨年度は少し上がったのですけれども、とうとう 121 位まで落ちてしまって、もはや女性差別大国だと国際会議では言われるような状況になっています。特に政治分野では、153 か国中 141 位です。政治分野という施策を打つところに女性がない日本は本当に危機的状況にあると思っています。このプランをつくるうえでの意識調査を見て、やはり草の根の活動をしていかなければ変わっていかないのだと実感しました。</p> <p>今日は市長をお迎えしての懇談ということも予定されているようですので、今までどおり忌たんのない意見を言っていただければと思います。</p> <p>3. 説明事項</p> <p>(1) 第 2 次宍粟市男女共同参画プラン素案について ～事務局より、パブリックコメント実施結果について説明～</p> <p>ご意見をお聞きできればと思います。</p> <p>2 番のプランの点検についてですが、今回の改訂で P C D A にのせるというのが大きな目標であったので、そのとおりだと思いました。</p> <p>5 番はプランを作成しただけで終わらせないことという意見ですが、今回はチェックをかけるのが大きな柱になっています。男女共同参画専門の担当者を配置してほしいとも書いてありますが、そのとおりだと思います。</p> <p>皆さん、どうですか。パブリックコメント実施結果についてのご意見はありますか。</p> <p>では、市議会からの意見について、説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>市議会常任委員会の中で、意見等がありました。指標に対するものがほとんどでしたが、はじめにプランの 43 ページをご覧ください。社会通念・慣習・しきたり等において「平等になっている」と感じている人の割合というものがございます。議員さんから、ここの割合が上がっていかないことには宍粟市の男女共同参画が進んでいかないのではないかと提案がありました。できる範囲での数値設定しかしていないのではないかと、意欲が見えにくいので再検討するよという意見を頂戴しました。昨年内閣府の世論調査が行われ秋口に公表されたこともありまして、それらの数値等も踏まえて再検討した結果、令和 11 年度の目標値を 50.0%に変更させていただこうと考えております。次に 47 ページをご覧ください。「デートDV」ということばの認知度の指標がございます。デートDVについては意識を上げればそれでよいわけではない、だめなことといった認識を</p>

	<p>すべての市民が持つておかなければならないという意見をいただきました。場合によっては刑法に関係してくるような事案もございますので、部内で検討した結果、令和 11 年度の目標値を 100.0%に変更いたしました。DVについてはアンケート調査の結果から 70 数%の認知度があることがわかりましたので、デートDVの認知度についても学校等と連携しながら進めていければと思っております。次に 49 ページをご覧ください。宍粟市役所における女性管理職の割合と自治会役員（会長または副会長もしくは会計）に女性が就任している自治会の割合についても意見をいただきました。担当の総務課等と協議をしましたが、今の時点でも達成が困難と思われる高め目標値を設定しているところがありますので、見直しは難しいということで変更はしておりません。ほかに議員さんの意見を受けまして目標値を上げたところとしましては、53 ページの職場において「平等になっている」と感じている人の割合と 56 ページの「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」ということばの認知度となっています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。大変積極的な意見をいただいたということですよね。</p> <p>兵庫県内の女性の区長さん、女性の自治会長さんの数を調べたところ、0 という自治体は 6 市町ありました。その中に宍粟市も入っています。私は多可町でも男女共同参画に携わらせていただいておりますが、多可町も 0 です。結局は市民の皆さんがご存じないので、そういうことの見える化がすごく大事かと思えます。</p>
<p>副会長</p>	<p>これまで未知であったものを知ることによって、次に何をすればよいかが見えてきます。市の実態などを市民に全部さらけ出していくことが大事なのではないかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>49 ページの農業委員会における女性委員の割合や自治会役員（自治会長または副会長もしくは会計）に女性が就任している自治会の割合についてですが、ほかのところを知って宍粟市が遅れていることを知ると同時に、枠組みを強制的に作っていかなければ目標値の達成は難しいのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>政策・方針決定過程等への女性の参画拡大については、本当に日本は遅れています。結局ここが遅れるから議員数が増えません。</p> <p>SDGs で今回変わったのは、若い女の子たちにどれだけエンパワーメントできるかが大きな目標になってきているところです。ライフプランとして結婚するかしないか、子どもを産むのか産まないのか、産むとすれば何人産むのか、その辺りを大人になってからではなく中高生のときから選ぶ、あるいは女性が社会で</p>

	<p>どのような状況にあるかを出していこうと言われていて、その中で大きいのがデートDVです。多可町では多可高校が8年ぐらいデートDVの授業をされています。それで生徒が家に資料を持ち帰って授業内容を話すことで保護者も含めて認知度が上がるので是非続けていただきたいですし、宍粟市を含め各地の中学校、高校でもしていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>女性の参画状況のところを見せていただいて、改めてショックというかこれが現実かと思いました。学校教育としては小学生のうちから平等ということを指導してきていると思うのですけれども、理想だけでなく現実と照らし合わせながら指導していく必要があると感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>委員は女性校長として、子どもたちにもものすごく良い影響を与えておられたと思います。尼崎市は3期連続で女性市長ですが、尼崎の子が西宮の男性市長を見て「市長って男の人でもなれるの」と聞いたという笑い話のような実話があります。子ども時代の心が柔らかい時期にリーダーは女性でよいという考えを刷り込みたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>目標値を果たして達成できるのか、非常に心配しています。最近メディア等で男女共同参画が結構取り上げられており情報は日本全国に行き渡っていますが、高齢になった団塊の世代の我々が男女問わずそれを本当に理解できているのかと思います。ただ、次世代の人は我々とまた感覚が違いますし、そのときがチャンスだと思うので、目標値に向かって頑張ってくださいと言っておきます。</p>
<p>会長</p>	<p>高齢クラブの中で男女共同参画について勉強したい人たちがいるらしいので、そういう人たちだけでグループを組めばよいと思います。うちは高齢者の夫婦だけで住んでいて、洗濯、掃除は彼の担当で私の担当は料理ですが、洗い物は彼がします。それはどういう気持ちでしているのかと聞いたところ、時間ができたから自然としていると言いました。そういう気持ちになっている高齢者の方たちは多いように見受けられます。男だから絶対にしないと意地を張るのではなく、パートナーシップがしっかりしていれば時間もあるししてみようかという人が増えてきているのかと思いました。男女共同参画を担当課だけで進めようとするとう無理が出てくるのですが、高齢クラブや子育てサークル等に予算を出すからと言って連携すればそれが市民活動になっていって、その活動が見える化になってきます。男女共同参画が進んでいると言われる小野市も最初のスタートはそこでした。いろいろな団体にお金を出してそこでしてもらい、具体的にはPTA、高齢クラブ、地域のママたちのグループとつながる形です。</p> <p>それでは、プランの概要版についてお願いします。</p>

事務局	<p>次に概要版の説明をさせていただき予定としていたのですが、プランの内容についてご意見をいただきましたので、ここで市長に入ってください、その後で概要版について協議していただく形にさせていただきますよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>わかりました。</p> <p>(2) 委員意見書の提出</p>
会長	<p>皆さんのところに委員意見書の原案が届いていて読んでいただいていると思うのですけれども、これでいくかどうかですよね。いかがですか。</p>
委員	<p>私だけかもしれませんが、一つ引っかかる言葉があります。下から4行目に「女性・女兒の能力強化」とありますが、能力は同じようにあるはずなので、例えば「活躍推進」などはどうでしょうか。能力という言葉でよいのかと違和感を覚えます。</p>
会長	<p>これは多分SDGs前文の言葉そのままですよね。</p>
事務局	<p>英語を日本語に訳した言葉で、全国共通のものとなっております。</p>
会長	<p>これは基本的に国際的な目標値で、例えば全く学校に行けていない地域の子どもたちも含めてのものですから能力としているのだと思います。</p> <p>ほかに気になったところはございますか。</p>
事務局	<p>プランの4ページ、下から3行目にもSDGsの一つとして能力強化という言葉がございます。</p>
会長	<p>SDGsの前のMDGs（ミレニアム開発目標）では女性の能力強化だったと思います。SDGsでは女兒がプラスされました。女性の能力が開発されていないということが大前提になっているからです。日本の特に学校では男子も女子も平等に学べますが、世界には女の子が学べない国もたくさんあります。だから、能力を開発するという意味も含めてこの言葉が使われているのだろうと思います。ただ、今の日本の状況から考えると、少し違和感を覚えますよね。</p>
事務局	<p>理系に女性が入りにくいという状況は日本でもありますよね。</p>

会長	<p>昔からみると今の女の子たちは理系に進みやすくなっていると思います。明石の高専も、今は女の子がトップの成績らしく、女子生徒の数も増えてきて、女子トイレの問題が出てきているそうです。目標値があり世界的な動きがある中で道が開け、日本も変わってきているのかと思います。</p>
委員	<p>文字だけを読むと疑問だったのですが、今のお話を聞いてよくわかりました。</p>
会長	<p>死活的という言葉は日本では絶対に使わない言葉です。でも、これは世界の状況で、女の子たちが生きていけない国もあります。</p> <p>これで市長に意見書ということでよろしいでしょうか。市長が来られたときに私たちはこういう思いで作ったというのを具体的に言ってもらおうほうがよいと思います。思いを口頭で伝えていただくようお願いします。</p> <p><市長に意見書提出></p>
事務局	<p>それでは、市長よりごあいさつとお礼を申し上げます。</p> <p>(3) 市長あいさつ</p>
市長	<p>皆さん、改めまして、こんにちは。</p> <p>第2次男女共同参画プランの策定委員会につきましては、第1回が平成30年9月7日ということでお世話になりました。それも含めて計7回集まっていたいて、いろいろとご議論いただいたと聞いております。会長さんからもありましたように、全7回、それぞれの委員さんが立場を超えて熱心にご討議いただいた中、本日まとめ上げていただいたということでもあります。非常に長期間でしたので、委員の皆さん大変だったと思います。そのことに対しまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>プランを見せていただきますと、基本目標が5つ、基本方針が10、施策の方向が32、具体的な施策が110ございました。また、市民の皆さんからパブコメとして、つくったプランをいかに実行に移していくかが大事だというご意見もいただいております。そういった意味におきまして、いよいよ令和2年から令和11年の10年間の計画が始まり、計画期間5年目となる令和6年には検証及び必要に応じて見直しを行う形となります。</p> <p>議論の中で事務局から話が出ているかもしれませんが、現在、宍粟市総合計画の後期基本計画及び地域創生戦略を策定中でございます。その基本構想にSDGs 17の目標の大半が入ってくるのですが、中でも宍粟市の特色である森林（も</p>

	<p>り)を守ろうということ、それを宍粟市全体の施策の中に取り入れてまちづくりに生かしていく必要があると思ひまして、職員一丸となつて取り組んでいく所存でございます。</p> <p>改めまして今日までお世話になつたことにお礼を申し上げたいと思ひます。本当にありがとうございました。そして、このプランを執行あるものにするということで、さらに気を引き締めて頑張つてまいります。このあとの懇談の中で、またいろいろご意見をいただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>
副会長	<p>プランを作成してそれで終わりではないということ、まずお願ひしたいと思ひます。</p>
委員	<p>副会長がおっしゃつたとおりで、このプランをトータル的に管理する部署を明確化し、意見書の中にもありましたように専門的な部署を設置していただければ有り難く思ひます。</p>
会長	<p>具体的に言うと、センターのような所ですか。</p>
委員	<p>そうですね。男女共同参画センターのようなものがあればと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>今、委員が言われたように、専門的な部署を本当に配置する必要があると思ひます。行政としてそれにどう取り組んでいくのか、具体的なところを市長に聞いてみたいです。</p>
市長	<p>防災センターがある意味、人権センター的な役割へと移行することが望ましいのではないかと前々から議論されています。新たな施設を造るのはなかなか厳しい状況があるので、まずは人権推進課を防災センターへ設置し、広い意味での人権という考え方、そういう形に置き換えている途中経過です。名称だけ変えてもどうにもならないので、そういう意味で議論をしてきているのですが、他市町と比べてどうかを今後明確にしていく必要があると思ひます。</p>
会長	<p>今、どこの市町も予算がありません。小野市にはエクラという市民活動交流センターがあつて、当時非常な財政難であつたにもかかわらず建てられたのですが、最初は文化センターのようになってしまつていたので、理念のところをかなりテコ入れしました。防災センターには社協等いろいろな団体が入つていて、ということは連携しやすいわけです。社協はグループを抱えていますよね。だから、</p>

	<p>そこと連携する方法もありますし、あとは縦割りをどう払拭するかだと思います。専門的な部署とおっしゃっていますが、実際に事業を動かすのは人です。システムや組織があってもそこに人がいなければ何も動かないという例はたくさんあります。多くの予算は取れなくても、例えば3つの部署が連携していればそれぞれに付いている予算を統合して3倍の事業ができます。縦割りをどう乗り越えていくかですが、私としては防災センターのところに男女共同参画センターの看板を出せばよいと思っています。</p>
市長	<p>宍粟市は4つの町が合併しているためセンター的な機能を集約するのは現実的になかなか難しいのですが、今度一宮に市民協働センターができます。これまではいわゆる文化的な市民センターと子育ての保健機能と行政機能とがバラバラに置かれていたのですが、それを集約したものになり、福祉、生涯学習、まちづくり等も含めて横断的に対応していきます。順次、千種と波賀にもそういうセンターを設置する方針を立てておりますが、司令塔がどこになるかが問題だと思います。</p>
会長	<p>人というのは動くものですから、一宮にそういうセンターができるのであれば、そこへ行って連携すればよいわけです。市民としてはこの課がどう、あの課がどうなどとは思っていません。</p>
市長	<p>確かに行政の組織など市民の方には関係ありませんね。今度できる一宮の市民協働センターは子育て機能、福祉機能等いろいろな機能を一つにして職員が連携する形を取ります。</p>
会長	<p>長年市の職員をしていると、これは福祉の仕事、これは教育委員会の担当という考えに陥ってしまいます。そこはぜひトップダウンでお願いしたいと思います。</p>
市長	<p>一宮のセンターについては仮称ですけども、市民みんなでまちをつくらうということで、市民「協働」センターとなっております。(愛称は「いちのぴあ」)拠点についてはそういう考え方もあるかと思います。</p>
委員	<p>先ほど会長がおっしゃったように、ポイントは人だと思います。トップの方はすごく素晴らしいことを考えておられるかもしれないけれども、組織の末端で働いている人間にはなかなかその意向が伝わってきませんし、職員が意見を上司に伝えても、上司のさらに上司には届きません。組織というのは往々にしてそういうものですけれども、せっかくこのプランをつくったので、トップだけがわかっ</p>

<p>会長</p>	<p>ているのではなく、職員の隅々まで理解できるよう研修等を実施し、職員が上司に意見を言えるようになればと思います。このプランを一生懸命まとめたので共通理解を持ってもらい、組織全体として動けば一人ひとりの力が発揮されるのではないのでしょうか。</p> <p>行政が一番大事にしなければならないのは見える化だと思います。特に男女共同参画については知識が曖昧なのがはっきり言ってスタンダードです。でもそうではなく、市長の考えを市民に見える化させることが大事だと思います。それには市民活動につなげることがポイントです。行政が例えば講演会を年間 20～30 回してもそれはなかなか見える化にならないけれど、市民活動につなげていくと草の根で広がっていきます。一宮に市民協働センターができるということは、地域の人がそこに集まるわけですね。その人たちと連携すれば工夫次第でうまくいくと思います。</p> <p>今回大きな柱として P D C A があります。各担当課が 1 年間取り組んできて目標値にどれだけ近づけたか、達成できたのか、全く手をつけなかったのかという評価表を作ってくださいと私たち委員からお願いしています。12 月ぐらいにチェックをかけて、その段階でできていなければ残り 3 か月で頑張ってくださいという感じですが、本当は予算を立てる頃にチェックすると来年度予算をうまく立てられると思います。ただ、プランの内容を見てもらうとわかるように、基本的には予算が必要でないことのほうが多いです。パブコメにもあったようにチェックをかけていくことが本当に大事で、それをしなければ市役所は変わっていきません。</p>
<p>副会長</p>	<p>男女共同参画が時代的にもすごく大事になってくると思うのですが、宍粟市の場合は人権推進課の中に男女共同参画係のような人しかいません。西播磨の各市に男女共同参画のことで行くとき、スムーズに担当者に会える所と会えるまでに時間がかかる所があります。係でしかない所は、やはり男女共同参画に取り組む姿勢が後ろ向きです。課までにはならないとしても、男女共同参画について詳しく勉強されていて、それを専門にしている人を配置してほしいと思います。市役所の中でも重点施策と位置づけ、そして時代の流れとしてもそういう人の配置が必要ではないでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>これからの社会動向の中、この男女共同参画プランを着実に進めることが重要だと思っております。ただ、一人でたくさんのセクションを担当しているのが現状で、専門職の配置が即座に可能かわかりませんので、長いスパン、5 年の区切りの中で各年度評価をしながら組織の在り様を大きな課題としてまいります。</p>

副会長	このプランを実現させるためだけに、あるいは市役所の組織として専門職を配置してほしいわけではなく、男女共同参画の考えを市民に行き渡らせようと思えばそうすることが必要だと言いたいわけです。
事務局	ダイバーシティ推進係が人権、男女共同参画、消費生活を担当しております。
会長	男女共同参画の専任ではありませんよね。人権もあるし消費生活もあります。それは仕方ないことですが、数年だけでもよいので男女共同参画専門の担当者を1名置くなどしていただければと思います。今、男女共同参画の専任の方がいるのは阪神間の市ぐらいのような気がします。
市長	宍粟市の場合、まちづくりという大きな概念の中に入っているのではないかと思います。
会長	教育委員会の中に入っているケースもあります。でも、それは違うだろうと思います。おっしゃるように総合政策的なところにいないと、いろいろな分野に派生していきません。
副会長	ある意味何を優先するかということですよ。
会長	宍粟市は国レベルの研修に毎年行っておられて、それは珍しいことです。兵庫県職員は行かないのに宍粟市の職員は毎年いろいろな研修に行っていて力はあると思うから、あとはその力を発揮する組織が欲しいということですよ。
市長	今おっしゃった有り難いご意見を宿題にさせていただきたいと思います。課題解決に向け動くにあたっては、当然人というのが肝心になります。
事務局	プランの65～66ページ辺りに先ほど出たご意見に対する方針等が記載されています。人的な部分については市長が言ったとおりですが、行政内部の仕組みとしては庁内推進体制の充実等、形をつくっていく必要があると思っています。このプラン策定に関しては担当課による各関係部署へのヒアリング等を通じて広く行き渡っています。今回に限らず前からではあるのですが、例えば審議会の中に女性委員を何%以上入れるという目標があるとすれば、それは各部署が意識しています。私は男女共同参画に力を入れる立場ですが、最近の役所の仕事は各部署単体ではなく、例えば自殺対策にしても担当課だけではなく全部署に通底している部分があって、その都度全部署対応の組織化をして進めている現状がありま

	<p>す。まちづくりにしても、こういうまちをつくり上げていきたいと思います」と市民の皆さんの間に広まっていくのが理想で、そういう形で進めていく必要があると思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>男女共同参画担当課があったとしても、その課だけではできません。担当課ができたらすごく進んでいるように見えますが、実はポツンとあるだけで、講演会だけ実施しているというような感じになってしまいます。やはり市民活動とつながって底上げしていかなければなりません。それは世の中の要求としてみんなわかっていることなので、今が仕掛け時だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>宍粟市役所における女性管理職の割合について、10年後の目標値が20.0%とあるのですけれども、既に平成29年に20.6%となっているので、もっと高い目標値でもよいのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>この目標値は低いのではないかと担当の総務課に数値の確認をしました。まずは、そもそも市役所職員の女性と男性の割合が違います。管理職に登用するにあたっては女性も男性も能力的には変わりないので差別は全くないと思うのですが、ベースになる男女比の差があります。そこが社会の問題なのですけれども、女性が子育てをする中で離職せざるを得ないであるとか、そういう社会構造の中で勤務年数が長い女性の割合が減っていく傾向がございます。そういう社会を直さなければならないのですが、今の結果として市役所内の女性の割合が低いので、それをずっと持ち上げていくと、この20.0%というのはかなり高い数値になっています。</p>
<p>会長</p>	<p>若いときは子育て、年齢が上がってきたら介護の問題があつて、その介護の問題が出てくる辺りで管理職の声がかかる年代になるわけです。そのため離職ということもあると思うのですが、それとは関係なく、ただ管理職になることに抵抗があり辞める人は宍粟市役所にいますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そういう人はあると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そこをどう乗り越えるかは女性の問題なのか社会の問題なのか、女性で役職をもらうのはしんどいと思っている、そこをどのように克服していくかということが大きな課題です。</p>
<p>市長</p>	<p>事実としてそういうこともあります。それぞれの立場で頑張ってもらいたいと思っています。</p>

会長	<p>うちの姑が要介護の状態になったとき親戚一同からももちろん仕事を辞めるの だろうねと言われたのですが、なぜ私が辞めなければならないのか、姑には施設 に入ってもらえばよいと言いました。当時私は指導主事で仕事に対する誇り、意 欲もあり、将来像も描いていたからです。管理職になることに抵抗があり辞める 女性というのは、そういうところがないのだろうと思います。</p>
市長	<p>女性管理職も女性の校長先生もなり手がいないようで、それが実態かもしれま せんが、いずれにせよ宍粟市はその方向に向かって進んでいかななくてはならない と思っています。</p>
会長	<p>その辺りは、ロールモデルがいるのといないのとでは大違いです。</p>
事務局	<p>確かにロールモデルという存在があれば心強いと思いますし、そういう存在は いろいろな部署に必要ですね。</p>
会長	<p>いかがですか。よろしいでしょうか。</p>
市長	<p>いろいろとご意見いただきまして、ありがとうございました。少しずつ段 階を上げて実行していくことが大事だと思っております。</p>
会長	<p>私はいろいろな自治体でプランの策定に携わらせていただいているのですが、 宍粟市の委員会はとても楽しかったです。 それでは、市長、来ていただいて本当にありがとうございました。</p>
市長	<p>こちらこそありがとうございました。 <市長退席></p>
事務局	<p>それでは、議題（１）に戻りまして概要版の説明をさせていただきます。 ～事務局より、第２次宍粟市男女共同参画プラン（概要版）について説明～</p>
会長	<p>私は事前にこの案をもらっていて、表紙のイラストに障がい者と外国人も入れ る必要がある、そして外国人はカラードの人を入れてくださいということをお願い しています。その辺りも含めて皆さんからご意見ありませんか。 全戸配布は無理ですか。小中に配れば子どもたちが確実に持って帰って若い世</p>

	代の保護者が読みます。宍粟市に高校は何校あるのですか。
委員	3校です。
会長	高校にも配れるのではないのでしょうか。何部印刷しようと思っておられますか。
事務局	2,000部です。
委員	その基準は何なのですか。
事務局	出前講座や講演会に来られた方にチェックシートをしてもらうなど、ただ配るだけではなく見てもらって説明しながらお渡しするというので、5年間で2,000部と考えております。
会長	結局5年間で2,000部の予算しか付いていないということですよ。
委員	そのレベルの予算しか付けられないこと自体が問題だと思います。
委員	5年分の予算を考える必要はなく、1年1年の予算で作っていけばよいと思います。ベースは2,000だけれど毎年部数を2,000にするのではなく、例えば3年目に1,200部必要だとすると、その分を予算立てしてもらうという形です。
会長	いずれにしても、子どもの手から家庭に渡るようにしてほしいと思います。その層が変わってくれないことには未来はありません。また、学校の先生がこのプランを子どもに配る際、何か言ってくれば効果的だとも思います。
委員	表紙のイラストは三世代ですけれども、四世代にしてほしいと思います。社会福祉協議会の広報の表紙はひ孫と一緒にの写真です。
会長	加東市はうちのように高齢者夫婦単独の世帯、そして単身者がものすごく増えています。
委員	この表紙ですが、男女ペアが当たり前のようなイラストですよ。
会長	妊婦さんも是非入れてほしいと思います。

会長	<p>多様な、というところは大事にしたいと思います。</p> <p>中の文言で気になる点があった場合、何日まで意見を受け付けてくれますか。</p>
事務局	<p>大幅な変更は難しいのですが、何かございましたら1月中にお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>概要版についてはよろしいですか。それでは、事務局にお返しします。</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画フォトコンテスト作品審査 ・来年度以降の男女共同参画推進事業について <p>5. 閉 会</p>
事務局	<p>委員の皆様、7回にわたる策定委員会においてご審議いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今年は2020オリンピック・パラリンピックが開催されることから記憶に残るプランの策定となりました。この間、委員の皆様をはじめ市役所職員、子育て世代の方々等たくさんの方の考え方や意見を聞く機会をいただきました。前向きな意見もある反面、なかなか前に進めない現状があるという意見も多数ございました。ですが、この1年が啓発の一步になったと思っております。</p> <p>持続可能な開発目標、SDGsの潮流とともに確かなものにするよう、このこともチャンスと捉えて前に進んでいかなければならないと思っております。</p> <p>早速条例づくりに着手していきますが、私たち男女共同参画を推進する部署としては、これからの施策の立案や仕掛けづくり、事業の推進、プランの進捗管理をしっかりと行っていく所存でございます。ただ、これまで同様、皆様に応援団になっていただけることが大変励みになりますので、どうぞ今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>これをもちまして第2次宍粟市男女共同参画プラン策定委員会を終了させていただきます。</p> <p>風邪が流行っておりますので、皆様十分にご自愛ください。これまで本当にありがとうございました。</p>

* 発言者の表記は、「会長」、「委員」、「事務局」とする。